

# 令和6年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立大宮中央高等学校)

目指す学校像	多様な学習システムにより、生徒の可能性を伸ばすとともに、他者を尊重する精神を養い、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
--------	--

重点目標	1 様々な環境の中で生徒が主体的に学ぶ力を育成する。そのための教材を開発するなど多様な働きかけを行い、授業改善を進める。また、生徒にとって魅力ある学校づくりを進める。 2 「決意・計画・継続」を土台として、生徒の自己管理能力の向上を図り、生活マナーなど他者を尊重する態度を醸成する。また、自己の可能性を発見し、社会で生きていく力をさらに伸張するためのサポートを行う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(令和 年 月 日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策
1	<b>【通信制の課程】</b> ①生徒は意欲的に学習に取り組むが、一人一人様々な背景があり、困難を感じる生徒も存在する。 ②生徒の進路実現に向けて外部機関との連携を図り、更に魅力ある学校づくりを進める必要がある。	①生徒が意欲的かつ効果的に学習できるよう、ICTの活用も含め指導方法を工夫する。 ②生徒の進路意識の向上を目指す取り組みを行う。	<b>【通信制の課程】</b> ①生徒の主体的な学習活動に向け、レポート・授業改善の他、ICT活用(DX加速化推進事業)を推進する。 ②学習サポーターを活用する他、ハローワーク等外部機関と連携し進路指導を充実させる。	○学習手帳の他、学習・受講ガイドの活用状況 ○外部機関との連携状況 ○ICTを活用した授業改善の推進状況 ○生徒の学力の伸長状況 ○単位修得状況 ○進路実績・高校卒業に向けた生徒の取組状況とその満足度	<b>【通信制の課程】</b>	<b>【通信制の課程】</b>
	<b>【単位制による通信制の課程】</b> ①ICTの有効活用し、生徒の学習意欲の向上と学修活動の一層の充実を図る必要がある。 ②生徒の進路意識向上のため、外部からの支援も含めた指導の充実が求められる。		<b>【単位制による通信制の課程】</b> ①レポートの電子化(DX加速化推進事業)による学習指導の円滑化と効果的な学修活動を目指す。 ②就職支援アドバイザーを有効活用し、求められる進路情報を生徒に提供する。		<b>【単位制による通信制の課程】</b>	<b>【単位制による通信制の課程】</b>
	<b>【単位制による定時制の課程】</b> ①個々の生徒の学習目的・理解度に応じたきめ細かな指導を充実させ、学力向上を図る必要がある。 ②個々の生徒の実情に合った指導を充実させ、生徒の進路意識の向上と主体性の育成を図る必要がある。		<b>【単位制による定時制の課程】</b> ①多様な講座を開設し、DX加速化推進事業を活用しながら、本課程の社会的要請に応える。 ②進路説明会・ガイダンスの開催、適切な資料提供など、きめ細かな進路指導を行う。		<b>【単位制による定時制の課程】</b>	<b>【単位制による定時制の課程】</b>
2	<b>【通信制の課程】</b> ①丁寧な生活指導をとおして自己管理能力、他者を尊重する態度を醸成させる必要がある。 ②心のケアが必要な生徒が多く、個に応じた教育相談体制を充実させる必要がある。	①生徒の規範意識を高めるとともに、他者を尊重する姿勢を醸成する。 ②適切な情報発信と、きめ細やかな指導を充実させる。	<b>【通信制の課程】</b> ①スクーリング時の巡回指導、丁寧な声掛けをとおして自己管理能力、規範意識を高める。 ②登校日を活かして積極的に生徒理解に努め、教育相談室・談話窓口の周知・活用を進める。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活の状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページなどを活用した積極的な情報発信の状況 ○生徒との信頼関係のもとでの指導状況 ○生徒の実態把握に基づいた適切な対応の状況	<b>【通信制の課程】</b>	<b>【通信制の課程】</b>
	<b>【単位制による通信制の課程】</b> ①家庭不安、感染症不安、学習不安などを抱える生徒の心のケアをより一層充実させる必要がある。 ②ICTを活用した効果的な情報発信をより一層充実させる必要がある。		<b>【単位制による通信制の課程】</b> ①教育相談担当を中心に機に応じた教育相談体制を充実させる。 ②HPの他 Google Classroom など ICT を活用した学校説明会や情報発信を実践する。		<b>【単位制による通信制の課程】</b>	<b>【単位制による通信制の課程】</b>
	<b>【単位制による定時制の課程】</b> ①学習環境は確立されているが、更なる規範意識の醸成と学習意欲の向上に向け、より共通認識をもった指導が重要である。 ②教育相談体制の整備により、様々な背景を持つ生徒への支援をさらに充実させる必要がある。		<b>【単位制による定時制の課程】</b> ①挨拶・声掛けによる生徒理解と関係の構築により信頼関係に基づいた指導を行う。 ②アンケート等により実態把握に努め、関係職員との情報共有をとおして様々な生徒の悩みや不安に対応する。		<b>【単位制による定時制の課程】</b>	<b>【単位制による定時制の課程】</b>

学校関係者評価	
実施日(令和 年 月 日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	